

配布先: 学研都市記者クラブ、大阪経済記者クラブ、京都経済記者クラブ、
奈良県政記者クラブ、京都府政記者クラブ、
大阪科学・大学記者クラブ、京都大学記者クラブ



記者の皆様へ

プレスリリース
2020 年 10 月 29 日

けいはんな R&D フェア実行委員会
国立研究開発法人情報通信研究機構
株式会社国際電気通信基礎技術研究所
公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構
公益社団法人関西経済連合会

「けいはんな R&D フェア 2020」バーチャル開催のご案内

けいはんな R&D フェア実行委員会、情報通信研究機構(NICT)、国際電気通信基礎技術研究所(ATR)、関西文化学術研究都市推進機構(KRI)及び関西経済連合会は、けいはんな地域の研究開発の最新成果の発信と地域への貢献を目的として、11 月 5 日(木)～7 日(土)、「けいはんな R&D フェア 2020 (NICT オープンハウス 2020 in けいはんな、ATR オープンハウス 2020)」をオンラインにて下記のとおり開催します。詳細は、別添の参考資料、リーフレット及び Web ページ(<https://khn-fair.nict.go.jp/>)をご参照ください。

報道機関の皆様には、11 月 5 日(木)10:30 からオンラインにて「記者説明会」を予定していますのでご案内申し上げます。記者説明会では、今回出展する主な研究内容をご紹介します。オンラインに加えて、けいはんなプラザ「黄河」にて説明会の会場も設定しております。是非、皆様のお越しをお待ちしております。

記

記者説明会 11 月 5 日(木) 10:30～12:00

内容: 精華町の取組紹介、見どころ紹介、NICT・ATR・奈良先端科学技術大学院大学の各研究内容や展示の紹介

参加方法: オンライン又は会場

(会場参加の場合は、けいはんなプラザ1階「プレス受付」に 10 時 20 分までに集合願います。)

●記者説明会にご出席いただける場合は、誠に恐縮ですが、以下のサイトにて事前申込みをお願いいたします。

<https://khn-fair.nict.go.jp/press.html>

一般向け開催日時:

11 月 5 日(木) 13:00～17:00

11 月 6 日(金) 10:00～17:00

11 月 7 日(土) 10:00～17:00 (ATR オープンハウスは 5、6 日のみ)

【報道・広報 問合せ先】

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)

Tel: 0774-98-6900(けいはんな)、042-327-6923(本部)

Email: publicity@nict.go.jp

株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)

Email: pr@atr.jp Tel: 0774-95-1176

NICT による研究紹介

●多言語音声翻訳技術の進化と同時通訳を目指した研究開発

これまでグローバルコミュニケーション計画に基づく取り組みにより、翻訳精度は実用レベルまで向上し、対応言語も拡大してきました。また、NICT から民間への技術移転も進み、多様なサービスが実用化し普及してきました。NICT では、新たに立ち上がった「グローバルコミュニケーション計画 2025」の実現に向けて、多言語音声翻訳技術の更なる高度化を図り、世界の「言葉の壁」をなくすために、「逐次翻訳」から「同時通訳」への進化と社会実装の更なる進展を目指します。



AI 同時通訳

●高齢者介護支援マルチモーダル音声対話システム MICSUS

MICSUS (ミクスス) は高齢者と雑談をしながら、健康状態、生活習慣のチェックができるマルチモーダル音声対話システムです。介護モニタリングの一部を AI で自動的に行うことにより、人材不足が懸念されているケアマネジャーの作業負担を減らすことを狙っています。将来的には、Web データ等を使った雑談を行い、高齢者が社会との接点を失うことを防ぐことも狙います。



MICSUS とその活用の様子

奈良先端科学技術大学院大学によるオンライン展示

●180 度の超広視野で明暗がくっきり見える光学シースルーHMD

屋外などの明るい場所でも常に鮮明な映像が視野いっぱいに見えるシースルーHMD のしくみを考案しました。まだ被れるほど小さくありませんが、観光や建設などで活躍する未来のメガネの基礎技術です。



ATRオープンハウス2020

科学技術イノベーションが拓くアフターコロナの社会 ～研究者と共に考えよう～



11月5日・6日 バーチャル開催

経営層・第一線の研究者による講演やオンライン講座等のライブ配信、ポスターと動画にチャットシステムを取り入れた展示を通して、ATRグループの活動をご覧いただけます。

コロナ禍後の社会に科学技術がどう貢献していくか、共に考える場となりましたら幸いです。

<https://www.atr.jp/expo/index.html>

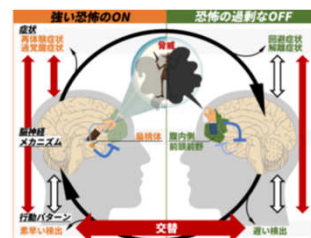
1. 全体紹介

(経営統括部企画・広報チーム 担当部長 辰巳 真起子)

2. 精神疾患の症状ダイナミクスに応じたDecNefの試み ～患者の状態に応じた"フル"テラーメイド医療～

(脳情報研究所 研究員 千葉 俊周)

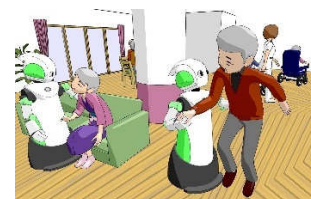
個人の特性に応じて変化するテラーメイド医療は、疾患単位で画一的に実施されてきた精神医療の質を大きく引き上げつつあります。我々はこれまでに、心的外傷後ストレス障害の患者さんにみられるダイナミックな症状の変動を生み出すメカニズムの解明に取り組んできました。更に、ダイナミックな個人内の症状・状態の変動に応じて変化する"フル"テラーメイド医療を提案し、それによる医療の質の更なる発展を目指しています。



3. 深層インタラクション科学による心地よい未来の創出

(インタラクション科学研究所 所長 宮下 敬宏)

深層インタラクション総合研究所では、「インタラクションを深く知ることで心地よい未来を創る」というビジョンのもと、深層インタラクションに関する研究開発と社会実装を進めています。深層インタラクション研究の概要と、企業連携・社会実装に関する取り組みを紹介します。



4. 電波利活用強靱化に向けた周波数創造技術に関する研究開発及び人材育成プログラム

(波動工学研究所 所長 鈴木義規)

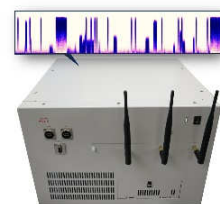
総務省の戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）により、京都大学と連携してワイヤレス分野の中核拠点：電波COE（Center of Excellence）を構築し、電波利活用強靱化技術（柔軟でかつ力強い電波利用を支える技術）に関する5つの先端的研究開発を通じて、セレンディピティ（思わぬものを発見する能力）を持つ意識の高い無線研究者・技術者を育成します。



5. 狭空間での周波数稠密利用のための周波数有効利用技術 ～工場内に混在する多数の無線システムの共存を目指して～

(適応コミュニケーション研究所 所長 横山 浩之)

工場内の通信で無線を使用することが増えてきておりますが、狭い空間に機械がひしめき、様々な電波が飛び交う環境でも安定したWi-Fi通信を実現する、新しい観測・分析・予測・制御の技術をご紹介します。



6. ウイズコロナでの外国語学習 ～いつでもどこでもATR CALL～

(ATR Learning Technology株式会社 代表取締役CTO 山田 玲子)

「いつでも、どこでも」を追求したクラウド型eラーニングサービス『ATR CALL BRIX』と、Web会議による『ATR CALLオンライン講座』について、コロナ禍での取り組みを交えてご紹介します。



7. 質疑応答

けいはんなが拓く
サイエンスの未来



バーチャル開催

参加
無料

けいはんな R&Dフェア 2020

日時 11/5(木)~7(土)

けいはんなから 未来を創る
オータムフェア
Keihanna Autumn Fair 2020

NICT オープンハウス 2020 in けいはんな
ATR オープンハウス 2020

▶ オープニングセレモニー 申込制 11/5 THU 13:00-15:35

【基調講演】

スーパーコンピューター富岳による
新型コロナウイルス治療薬候補の探索

京都大学 大学院医学研究科 ビッグデータ医科学分野 教授
理化学研究所 科学技術ハブ推進本部 副プログラムディレクター

奥野 恭史氏

次期科学技術・イノベーション基本計画について

内閣府 総合科学技術・イノベーション会議
常勤議員

上山 隆大氏

▶ 特別講演 申込制 11/6 FRI 13:00-14:30

おかえり、はやぶさ2~リュウグウからのメッセージ~

和歌山大学 観光学部 観光学科 教授

尾久土 正己氏

宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系 准教授

吉川 真氏

▶ 展示 申込不要

研究内容や成果をまとめたオンラインでのパネルと、それらを説明する録画動画により研究発表や活動紹介をおこないます。情報通信研究機構(NICT)をはじめ、けいはんな学研都市に関連する多数の機関より出展します。

▶ サイエンストーク
11/7 SAT 10:00-12:00

中高生を対象に、研究者が科学の魅力をオンラインで語ります。
おもしろい話がたっぷり聞けます。

視聴方法、申込方法など詳しくは <https://khn-fair.nict.go.jp/> をご覧ください▶



オープニングセレモニー 申込制 11/5(木) 13:00-15:35

【基調講演】

スーパーコンピューター富岳による 新型コロナウイルス治療薬候補の探索

京都大学 大学院医学研究科 ビッグデータ医科学分野 教授 奥野 恭史氏
理化学研究所 科学技術ハブ推進本部 副プログラムディレクター

次期科学技術・イノベーション 基本計画について

内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員 上山 隆大氏

【パネルディスカッション】

With コロナ時代の研究開発と産学官連携

技術講演 申込制 11/6(金) 10:00-12:00

トクホ・健康食品の開発研究

サントリーウエルネス株式会社 健康科学研究所 部長 櫛木 智裕氏

180度の超広視野で明暗が くっきり見える光学シースルー HMD

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学領域 サイバネティクス・リアリティ工学研究室 教授 清川 清氏

多言語音声翻訳技術の進化と2025年に 実用化を目指す同時通訳の研究開発

情報通信研究機構 先進的音声翻訳研究開発推進センター 先進的音声技術研究室 室長 河井 恒氏

社会課題解決を目指した大規模自然言語処理

情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 データ駆動知能システム研究センター センター長 鳥澤 健太郎氏

特別講演 申込制 11/6(金) 13:00-14:30

おかえり、はやぶさ2～リュウグウからのメッセージ～

小惑星探査機はやぶさを通じた 科学コミュニケーション

和歌山大学 観光学部 観光学科 教授 尾久土 正己氏

小惑星探査への挑戦： 「はやぶさ」から「はやぶさ2」へ

宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系 准教授 吉川 真氏

展示 EXHIBITION

申込不要

研究内容や成果をまとめたオンラインでのパネルと、それらを説明する録画動画により研究発表や活動紹介をおこないます。情報通信研究機構（NICT）をはじめ、けいはんな学研都市に関連する多数の機関より出展します。

ATR オープンハウス 2020

～科学技術イノベーションが拓くアフターコロナの社会～

11/5(木) 11/6(金) バーチャル開催

経営層・第一線の研究者による講演やオンライン講座等のライブ配信、ポスターと動画にチャットシステムを取り入れた展示を通して、ATR グループの活動をご覧いただきます。詳しくは、<https://www.atr.jp/expo/> をご覧ください。

サイエンストーク

11/7(土) 10:00-12:00

情報通信研究機構 電磁波研究所
宇宙環境研究室 研究員

齊藤 慎司氏

情報通信研究機構

ナショナルサイバートレーニングセンター
主任研究員

佐藤 公信氏

同時開催オンラインイベント

11/6(金)

15:00-17:00

申込制

理化学研究所主催

理化学研究所で進める
ロボティクス研究（仮題）

高度言語情報融合フォーラム主催

ALAGIN 音声処理セミナー 2020
（高校生向け）

11/7(土)

15:00-17:00

「話がわかるコンピュータ
—音声認識と会話ロボットの最前線—」

京都大学 情報学研究科 教授・研究科長
河原達也氏

「音声対話システム

—系譜と類型から自動 FAQ システム構築まで—

理化学研究所 ロボティクスプロジェクト
知識獲得・対話研究チーム チームリーダー
吉野幸一郎氏

11/7(土)

14(土)

奈良県立奈良高等学校主催

まほろば・けいはんな
SSH サイエンスフェスティバル

視聴方法、申込方法など詳しくは <https://khn-fair.nict.go.jp/> をご覧ください▶

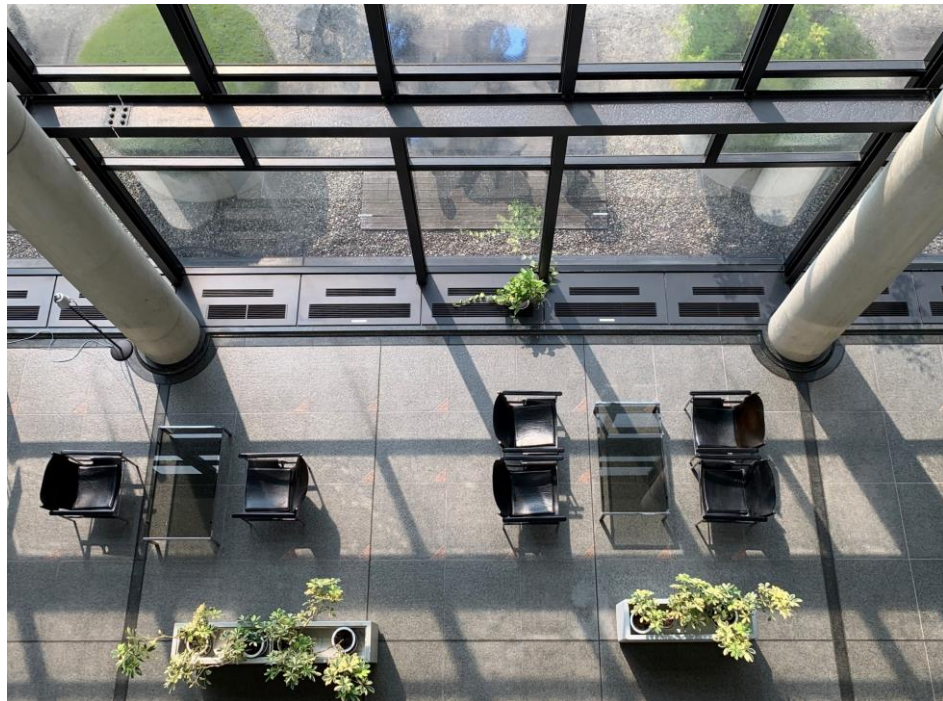


主催／けいはんな R&D フェア実行委員会

共催／（国研）情報通信研究機構、（株）国際電気通信基礎技術研究所、（公財）関西文化学術研究都市推進機構、（公社）関西経済連合会

協賛／京セラ（株）けいはんなリサーチセンター、（株）けいはんな、（株）島津製作所 基盤技術研究所、同志社大学、奈良先端科学技術大学院大学、日本電産（株）生産技術研究所、日本電信電話（株）NTT コミュニケーション科学基礎研究所、パナソニック（株）テクノロジー本部、（国研）理化学研究所、（国研）量子科学技術研究開発機構 関西光学科学研究所、近畿情報通信協議会、グローバルコミュニケーション開発推進協議会、けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会、高度言語情報融合フォーラム、次世代安心・安全 ICT フォーラム

後援／総務省近畿総合通信局、奈良県立奈良高等学校、京都府、大阪府、奈良県、京田辺市、木津川市、精華町、枚方市、四條畷市、交野市、奈良市、生駒市、及び各市町教育委員会



ATR オープンハウス 2020

科学技術イノベーションが拓く
アフターコロナの社会
～研究者と共に考えよう～

参加登録

<https://www.keihanna-digital.com/>



<https://www.atr.jp/expo/>



ATRオープンハウス事務局
Email: expo-office@atr.jp
Tel: 0774-95-1176



バーチャル開催

2020. **11.5 - 6**

10:00 - 17:00

経営層・第一線の研究者による講演や
オンライン講座等のライブ配信、
ポスターと動画にチャットシステムを
取り入れた展示を通して、
ATRグループの活動をご覧ください。

コロナ禍後の社会に
科学技術がどう貢献していくか、
共に考える場となりましたら幸いです。

WEBINAR ウェビナー

スケジュール <https://www.atr.jp/expo/>

社長講演	▼ 日本ICTの失われた過去20年 代表取締役社長 浅見徹
テーマ講演	▼ アフターコロナ社会に向けた世界のイノベーション拠点・スタートアップとの協働 経営統括部・事業開発室 代表取締役専務 鈴木博之 ▼ アフターコロナ社会における脳・行動情報を活用した精神疾患へのアプローチ 認知機構研究所 数理知能研究室 主任研究員 酒井雄希 ▼ 人のインタラクションを深化させるサイバーフィジカルアバター技術～コロナ禍での「ありたい社会」を創るために～ インタラクション科学研究所 所長 宮下敬宏 ▼ 5Gによる地域課題の解決 ～次世代通信技術のポテンシャル～ 適応コミュニケーション研究所 所長 横山浩之 ▼ ATR CALLが支援するオンラインでの外国語学習 ～学びを止めないために～ ATR Learning Technology 代表取締役CTO 山田玲子
電波COE特別企画	▼ メンター講演 「和の国、情の国」～日韓の企業で感じた文化的相違～ 元中部大学工学部 教授 宮本順一 氏 ▼ 技術講座 1 Wi-Fi6(IEEE 802.11ax)入門 ▼ 技術講座 2 無線ネットワークモニタリングのためのセンシングと可視化システム
ATR CALL 英語オンライン講座	▼ オンライン参観 小学生を対象としたレッスン ▼ 授業体験 高校生～大人を対象としたレッスン
けいはんなATRファンドセッション	▼ けいはんなATRファンドの最新状況 ▼ 出資企業プレゼンテーション ブルーイノベーション、ユカイ工学、スマートスキャン

EXHIBITION 展示

研究開発 脳情報科学 15展示	▼ Metacognition Supports the Solving of Complex Problems ～Confidence May be the Key to Our Unconscious Brain Activity～ ▼ 多段階時空間推論による映像質問応答 ～映像の内容を理解して質問に答えるAI～ ▼ 脳ダイナミクスイメージング技術 ～1/1000秒で変化する脳活動の可視化～
深層インタラクション 11展示	▼ 人とロボットのソーシャルタッチインタラクション ▼ ロボットサービスのための人混みシミュレータ ▼ 人間関係構築を支援する日常対話アンドロイド ▼ 実証実験による対話ロボットにおける身体性の有効性探索の試み
無線通信 12展示	▼ 狭空間での周波数稠密利用のための周波数有効利用技術 ～工場内に混在する多数の無線システムの共存を目指して～ ▼ 電波利活用強靱化に向けた周波数創造技術に関する研究開発及び人材育成プログラム
生命科学 5展示	▼ バーチャル 1 細胞トランスクリプトーム ～様々な臓器を細胞単位で見る～

事業開発 関連会社 5展示	▼ ATR-Promotions 小型無線多機能センサTSND151とAMWS020 ▼ ATR Learning Technology ウイズコロナでの外国語学習 ～いつでもどこでもATR CALL～ ▼ ATR-Trek 音声認識によるコミュニケーション支援 ～音声認識技術～
ベンチャー企業 32展示	▼ ブルーイノベーション UNR Platformとの連携による業務のスマートな達成のためのドローンサービス ▼ ユカイ工学 共感するコミュニケーションロボット「BOCCO emo」の活用領域について ▼ スマートスキャン 未病の世界を創ろう！ ▼ グローバルスタートアップ支援プログラム「KGAP+」 日本・カナダ・香港・インド・イスラエル・スペインから16社
パートナー機関 10展示	▼ XNef 精神疾患の診断支援システム ▼ エーアイ 次世代型高品質日本語音声合成エンジン AITalk®5 ▼ 理化学研究所 ATRにおける理化学研究所の取り組み ▼ 東レ建設 トレファーム